

# 立川駅北口周辺の自転車対策

## 現状

- ・立川駅北口周辺の定期利用は常時、抽選落選台数が平均100台を超えている。
- ・ただし、他の施設の定期利用者が別の施設を申し込んでいる割合も一定数ある。
- ・全体の抽選倍率は2.5倍で、特に「曙町一丁目東」が4.5倍で高い倍率となっている。
- ・立川駅周辺には新たな施設整備の候補地は無く、既存施設を有効活用することが重要である。

### 立川駅北口周辺の定期利用申込み状況

(平成30年10月から令和元年9月までの平均値)

施設名	⑩北口第一	⑫北口第三	⑬西地下道	⑯あけぼの口南	⑱曙町一丁目東	合計
募集台数	23.9	15.3	16.9	11.3	8.3	75.7
申込台数	42.2	36.2	30.6	46.0	37.6	192.6
抽選倍率	1.8	2.4	1.8	4.1	4.5	2.5
落選台数	18.3	20.9	13.7	34.7	29.3	116.9

# 立川駅北口周辺の自転車対策

## 課題

- ・立川駅北口全体の定期利用が約100台程度不足しており、定期利用枠を拡充する必要がある。
- ・「立川駅北口西地区」は開設以来、利用率が低調で(令和元年8月時点で67%)、施設(床)の有効活用が十分とは言えない。
- ・「曙町一丁目東」と「あけぼの口南」は定期利用と一時利用を併用していることから、日中、定期利用枠に空きが生じ、施設の有効活用が十分とは言えない。
- ・特に「曙町一丁目東」の定期抽選倍率が高く、立川駅の西側から乗り入れる利用者への適切な誘導が必要である。

# 立川駅北口周辺の自転車対策

## 対策

・「立川駅北口西地区」と「西地下道」の一時利用率を上げるには、距離的に近い「曙町一丁目東」から一時利用者を誘導する対策が有効と考える。

・立川駅北口全体の定期利用落選台数と「曙町一丁目東」の一時利用台数が、ほぼ同数である。

以上のことから、

**「曙町一丁目東」の一時・定期併用の利用種別を定期利用のみに変更し、定期利用枠を92台増やす。**



「曙町一丁目東」に設けていた一時利用92台を、「立川駅北口西地区」と「西地下道」に誘導する。

# 立川駅北口周辺の自転車対策

## 効果予測(定期利用)

現状

令和元年8月時点

施設名	⑩北口第一	⑫北口第三	⑬西地下道	⑯あけぼの口南	⑱曙町一東	合計
収容台数	832	542	676	400	357	2,807
利用台数	754	558	577	394	356	2,639
利用率	90.6	103.0	85.4	98.5	99.7	94.0



施行後

令和元年8月時点

施設名	⑩北口第一	⑫北口第三	⑬西地下道	⑯あけぼの口南	⑱曙町一東	合計
収容台数	832	542	676	400	449	2,899
利用台数	754	558	577	394	449	2,732
利用率	90.6	103.0	85.4	98.5	100.0	94.2

「曙町一丁目東」の施行後の定期枠を92台増やすことにより、100.0%の充足率となる。

# 立川駅北口周辺の自転車対策

## 効果予測(一時利用)

現状

令和元年8月時点

施設名	⑩北口第一	⑫北口第三	⑬西地下道	⑭立川北駅下	⑮立川北駅西	⑯あけぼの口	⑰北口西地区	⑱曙町一東	合計
収容台数	210	586	330	582	50	196	800	92	2,846
利用台数	246	353	200	1,400	142	241	538	124	3,244
利用率	117.4	60.2	60.7	240.5	284.0	123.0	67.3	134.8	114.0

施行後

令和元年8月時点



施設名	⑩北口第一	⑫北口第三	⑬西地下道	⑭立川北駅下	⑮立川北駅西	⑯あけぼの口	⑰北口西地区	⑱曙町一東	合計
収容台数	210	586	330	582	50	196	800	0	2,754
利用台数	246	353	241	1,400	142	241	621	0	3,244
利用率	117.4	60.2	73.0	240.5	284.0	123.0	77.6	0.0	117.8

現状、一時利用の利用率が比較的余裕のある「西地下道」と立川駅北口西地区に誘導することで平準化が図られる。

# 立川駅北口周辺の自転車対策

## 実施時期(予定)

- ・令和2年3月 3月議会にて条例の一部改正(「曙町一丁目東」の料金表改正)。
- ・令和2年4月 一時利用廃止について、現地掲示を開始。  
数か月かけ、段階的な一時利用枠の減少を開始。

# 立川駅北口周辺の自転車対策

## 今後の対応

- ・立川駅北口全体の定期と一時の利用率の動向を注視し、既存施設の定期、一時のバランス見直し等、対策を図り、各施設の有効活用向上を目指す。